

【小鮎小学校】説明会における質問・意見等の概要

1 参加人数

日にち	会場	時間	参加人数
令和5年11月4日（土）	小鮎小学校体育館	10 時～	10 人
		14 時～	12 人
		合計	22 人

2 意見提出用紙による意見等提出件数

提出件数	10件
------	-----

3 質問・意見の概要

○…質問 ●…意見・要望 △…意見交換会后、意見提出用紙等で提出された質問等

→…質問、意見に対する回答

【質問】

（取組の考え方・進め方・スケジュール）

- 昨年度説明会があり、小鮎小の敷地に統合で決まっている話かと思っていたが、一部では飯山小の施設の方が新しいので、飯山小の敷地に統合するという噂もある。現時点で、教育委員会の内部では統廃合が決まっていることなのか。これから考えていくことなのか。
- 教育委員会としては、飯山小を小鮎小の敷地に統合する案を考えています。今回の意見交換会ではその辺りについての御意見もいただき、それを踏まえて再度検討していく考えです。

- 「小鮎から始まる新しい教育」は、ぜひ進めてほしい。新しい校舎の話の中に、複合化という言葉があったが、学校教育のみならず、社会教育で、例えば公民館の事業でも利用できる施設を作ることの意味しているのか。また、建替えの場所について、中学校の敷地にまとめて建設し、その分校庭を広げるという考えはあるか。
- 施設の建替えについては、現在、依知南小と緑ヶ丘小で建替えに向けた計画を進めています。その中では、例えば学校と相性が良い児童館等の施設との複合化を検討しています。小鮎小の建て替えについても、放課後児童クラブの施設や社会教育など、様々な視点から、地域にとって良い施設にするための検討をしたいと考えています。

建て方については、現時点で定まっているものはありません。現在進めている依知南小や緑ヶ丘小では、仮校舎を建設し、一度移ってから同じ場所に建設する計画になっています。小鮎小・小鮎中については、小・中学校全体で考え、最終的な施設の形から逆算して検討を進めていきたいと考えています。

- 小中一貫教育の取組と、学校の統廃合は、令和 12 年度に同時に始まるのか。
 - 小中一貫教育の取組自体は、現在も行っています。例えば、小鮎中の英語の教員が小鮎小で教えています。令和 12 年度以降に、小中一貫教育をより深めた形で、新しい学校をスタートしたいと考えています。
- 方策の実施は令和 12 年度以降を見込んでいると説明資料に記載されているが、それまでに施設等を整備し、令和 12 年度以降から実施するという理解でよろしいか。
 - そのとおりです。
- 今年度中に方策の方向性が決定すると、来年度 4 月から 1 年ぐらいかけて、組織検討委員会が発足すると思うが、委員の選考方法やどのように運営されるのか、具体的な案があるのであれば教えてほしい。
 - 現在検討中ではありますが、イメージとしては、PTA、学校運営協議会の方、地域の代表として自治会の方、青少年健全育成連絡協議会や、子ども会等の組織から、団体の代表として適切な方を推薦していただくような形を考えています。また、公募委員に入っていただくかについて、現在検討しています。
- 地域検討組織は、地域で一つの検討組織という認識でよろしいか。統廃合される両方の学校でそれぞれ委員会ができるのか。
 - 地域で一つの検討組織を作り、飯山小及び小鮎小の両方の関係者に入っていただきたいと考えています。

（教育環境）

- 小中一貫教育の推進について、小中一貫教育の手法がいろいろあると思うが、校舎自体を統合するのか、校長も小中で一人にするのか、何か具体的なことが決まっていたら教えてほしい。
 - 小中一貫教育は、9 年間を見通し、目指す子どもの姿を達成するため、小

学校と中学校が系統性のあるカリキュラム教育を行うことが一番の目的です。その形態はいくつかあり、義務教育学校は1年生から9年生までの一貫校、併設型は小・中学校それぞれあり、授業や教育活動を9年間で整理していく形態です。施設の形も、一体型・併設型・分離型とあり、もし小鮎小・中学校で小中一貫教育を推進していく場合、併設型に近い形になります。現在、小中一貫教育の形態について確定しているものはありませんが、9年間を見通した系統的な教育は、小鮎地区の環境をいかして検討を進めていきたいと考えています。

- 施設については、小鮎小の南棟が令和9年、小鮎中学校の北棟が令和12年、それに加え、小鮎中の体育館も令和13年度に目標耐用年度を迎え、建て替えが必要になります。公共施設の建て替えは、費用対効果の観点から、使用可能な施設はなるべく丁寧に修繕して長期間使用していくのが基本的な考え方です。その中で、小鮎小・中については、直近の時期に3棟の建て替えを迎えますので、ある程度まとめて整備する検討が必要だと認識しています。コスト面でのメリットやデメリットに加え、小中一貫教育を更に進めるために、どのような施設が良いかという視点を含めて、検討したいと考えています。また、公共施設最適化基本計画に則り、施設の複合化を検討し、共有できる施設や効率化できる部分を整理していきます。
- 建て替えの時期を迎える施設があるが、それ以外も全部解体して、全く新しい施設を整備することは考えていないのか。
- 小鮎小の南棟が令和9年、小鮎中の北棟が令和12年、小鮎中の体育館が令和13年に施設の目標耐用年数を迎えます。基本的には、使用できる施設はなるべく有効に活用していくというのが基本的な考え方になります。ただ、小鮎小・中については、近い時期に3棟が目標耐用年数を迎えることから、施設整備の合理化の観点からも、施設で共有できる部分や複合化できる部分があるかなどについて、検討する必要があると考えています。

（通学関係）

- 私たちが小学生の頃は、上飯山方面の児童は、小鮎小に通うため、小鮎久保まで路線バスに乗って通学していた。今後は、厚木市として、バスを用意してくれるということか。
- 小鮎地区の学校統合に係る通学負担軽減策としては、公共交通の利用ではなく、スクールバスの導入を想定しています。

（その他）

- 厚木市は全国で住みやすい街として掲げられたことがあり、その際に人口も増え、市街地は盛り上がっているようだが、この地域は学校の統廃合が必要な状態になっている。市としてこれについてはどう考えているのか。
- 現在、厚木市の人口は、横ばいもしくは微減という状況です。本市の人口増に向けた計画である、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、合計特殊出生率の向上、定住促進施策、雇用の創出を目標に掲げ取組を進めています。ただ、現状としては合計特殊出生率が向上してきていないのが実情であり、少子化も進展しています。市内の中心部についても、市内からの転居の方が比較的多いのが現状です。市に魅力を感じて住んでいただけるような取組に加え、更に周辺部への交通網の強化、居住誘導のための補助金加算等の取組を実施し、人口増に取り組んでいるところです。こうした、総合的な取組と併せて、適正規模・適正配置の取組により、よりよい教育環境を整備し、魅力ある地域づくりを進めていきたいと考えています。

- 小鮎小は自校に調理場があり、小鮎中は給食センターから給食が届いているが、小中一貫教育で施設が統合された場合、給食も統一されるのか。
- 現時点で確定しているものではありませんが、方策の方向性が整理できた段階で、給食についても検討を進める必要があると認識しています。

- 厚木市の学校教育における要諦を3点挙げてほしい。
- まず、教育内容については厚木市の独断ではみ出ることとはせず、国が定めている学習指導要領に基づき、基礎・基本の学力を身につけることを目標としています。その他、教育指導の重点に置いているのは、人権・インクルーシブといった共生社会に向けた多様性理解に関する教育です。また、厚木市内にも外国に繋がる子どもたちが増えていることもあり、英語力も含めたグローバルな資質・能力向上を重視しています。

- 飯山小の利用可能普通教室が11教室とあるが、ピーク時に700人くらい在籍していたのに、なぜ今これだけしか教室が利用できないのか。
- 以前は40人学級でしたが、現在は35人学級になっていることから、学級数は現在の方が多くなります。また、特別教室や、特別支援級に在籍する子どもの増加等に伴い、普通教室以外の用途も増えています。教室施設としては21教室ありますが、普通教室として現時点ですぐに利用できるのは11教室を見込んでいます。

- 市の職員は3～5年で人事異動があると思うが、途中で職員が替わると方

向性や認識も変わるのではないか。今回の意見交換会で出た意見等が、ニュアンスが変わってしまうことや、意見等が引き継がなくなることがあるのではないか。

→ この適正規模・適正配置の取組は、長い時間を掛けて、地域の方や保護者の方から多くの御意見をいただきながら推進する取組になります。今回の意見交換会も、単なる座談会ではなく、重要な意見交換の場ですので、しっかりと記録し、継続性をもって取り組んでいきます。

○ 児童が何人いれば学校が設置されるのか、という定義はあるのか。

→ 資料が手元にありませんので、会議結果概要の公表とあわせて回答させていただきます。

(意見交換会後に追記)

→ 学校の整備に当たっては、「学校教育法」において

「第三十八条 市町村は、その区域内にある学齢児童を就学させるに必要な小学校を設置しなければならない。」

「第四十九条 第三十条第二項、第三十一条、第三十四条、第三十五条及び第三十七条から第四十四条までの規定は、中学校に準用する。」

とされていることから、厚木市に学齢児童・生徒が1人でもいる場合は、小・中学校を設置する必要があります

【意見】

(取組の考え方・進め方・スケジュール)

● 飯山小は今年度40周年で、一つの区切りを迎える。飯山小は施設の耐用年数に余裕があるので、小鮎小を整備している間、飯山小に通えるようにしたらどうか。

また、飯山小は小規模化に伴いPTAを担う人も減少し、運営に苦勞していると聞く。令和12年度以降の統合を前に、地域連携の意味も含めて、早めに小鮎小・飯山小のPTAが一緒に活動できればよいと思う。

→ 小鮎小学区からしばらく飯山小に通い、また小鮎小に変更となると、環境変化に伴う子どもたちの負担の懸念があることから慎重な検討が必要と認識していますが、一つの案として受け止めさせていただきます。

● 公募の市民の方は地域検討組織にぜひ入れてほしい。反対意見も含め、公正な意見がある方に入ってください、議論を深めることが大切だと思う。また、地域の人が悲しい思いをしないように、配慮しながら進めてほしい。

- 統廃合の話が出て、「もう市で決定していること」という認識の地域の方が多い。統廃合がなぜ必要なのか、もっと地域の方に説明してほしい。地域の中で、この取組について全く知らない人もいる。関心が薄いというのが現状。学校に関係する人や保護者などは関心もあると思うが、地域の学校ということを見ると、地域の人の協力を得るべき部分もあると思うので、もう少し関心を持ってもらえるようにしてほしい。
- もっと議論を深めるために、適正規模・適正配置の取組を要約したパンフレットを市内一斉に配布してほしい。住民自治の観点から、住民の同意があつてこそ教育なので、もっと周知すれば、この地域でも多少は議論が活性化するのではないか。
- 小鮎小と飯山小で別々に組織が立ち上がると、温度差があると思うので、地域検討組織の委員の選定については、慎重に行ってほしい。

（教育環境）

- これから市内で統廃合が進み、施設の整備が行われる際には、エレベーターを整備してほしい。学校の数が減るのであれば、設備面に力を入れてほしい。また、他の小学校には選挙等で使用するための車椅子が置いてあると聞いたが、小鮎小にはないとのことなので、それも配備してほしい。

（通学関係）

- 知り合いの1年生の児童は、寄り道をして遊んだり、通常の2倍近くの時間を掛けて帰ってくることがある。徒歩で通学する子どもたちに関しても、GPS利用などの安全対策を市で行ってほしい。
また、スクールバスを導入する際には、乗り遅れなどの事態に対応できるよう、検討してほしい。
- 現在、新入学児童に対して防犯ブザーを配布したり、ウェアラブルカメラを活用して通学路における危険箇所の把握・改善などの安全対策を講じています。今後も、学校の統廃合に関わらず、児童の登下校の安全対策を進めていきたいと考えています。また、中学生は、既に飯山小学校区から小鮎中に通学していますので、通学路の危険箇所等はある程度把握することができていますが、小学生と中学生では体力や判断力に大きく差がありますので、駆け込みポイントや監視カメラの設置などを含め、新たな安全対策を検討していくことが必要だと認識しています。教育委員会だけでな

く、地域や保護者の方にも御協力いただき、通学路の安全の見直しを行いたいと考えています。

(地域づくり・地域コミュニティ)

- 宮の里の近くにある学校が無くなってしまうことは、居住誘導区域として魅力ある地域づくりと一致するのか。この取組は、地域の魅力づくりにつなげ、地域全体の活性化に資すると記載されているが、学校をなくすことが、地域の活性化につながるのか疑問である。
学校教育のみならず、人口の動態、居住スペースをどのように地域に構築するか、地域コミュニティの観点が無いといけないと思う。
- 御意見のとおり、地域との関わりは重要であると認識しております。検討に当たっては、庁内で検討組織を立ち上げ、教育委員会だけでなく、危機管理をはじめ、企画や都市計画などの関係の部署と一緒に検討を進めていきます。御意見をいただいたとおり、総合的な視点を持って進めていきます。

(その他)

- 昨年度、森の里地区で説明会があり、結局森の里の小・中学校は統合せず維持される方向性となった。長期的には、学校の統廃合を行うことはやむを得ないと考えているが、森の里で行わないことをニュースで知った。住民に説明がないことが問題だと思う。統廃合を行わないとしても、森の里でも意見交換会を行い、説明を尽くしてほしい。また、市長部局で管轄する複合機能や福祉施設といった、街の重要な拠点の複合化について、どこまで進んでいるのかということまで、同時並行で説明を行うべきだ。
- 森の里地区・玉川地区については、公民館だよりの方策の方向性の周知に加え、児童の保護者には学校を通じて、未就学児の保護者には直接郵送で周知しています。その中で、小規模特認校制度や、小中一貫教育の取組について現段階で考え方を整理している状況です。通知には方向性がある程度整理できた段階で、学校関係者の御意見を伺いたい旨を記載しています。
- 市街地にマンションが建設された際、市議会においてスクールバスで飯山小や玉川小など、郊外の小学校に通っていただく提案をした。小規模校をどうにかするよりも、市街地の大規模な学校の編成が大きな課題であると思う。今回、小鮎地域の統廃合について、自治会長には事前に説明があったとのことだが、その後自治会内で議論が全くなかった。跡地の利用や、

分校としての維持なども含め、議論を深めてほしい。森の里や荻野地区では、いろいろな意見が出たと聞くと、小鮎地区の住民は関心が薄い。この意見交換会の出席者の少なさもあると思う。もっと意見を聞く場、周知を徹底してほしい。

→ この取組は、教育委員会のみで検討できる内容ではありません。市長部局のまちづくり、あるいは道路等の所管課など関係する部局も含めて積極的に議論を進めていますので、今の御意見を参考に更に検討を進めていきたいと考えています。

● 先ほど、地域の人がこの問題に関心がないという意見があったが、子どもを持つ保護者の中では、ある程度話題にも挙がり、統廃合の方向性を許容し、前向きに考えている人が非常に多いと感じている。

● 自治会の方で、地域コミュニティや防災面の問題について、もっと議論してほしい。高齢者は、もう子どもがいないから関係ない、ではなく、将来の地域のために、真剣に議論してほしい。

【意見提出用紙による意見等】

（通学関係）

△ ①児童の通学路の安全性が特に重要。

②スクールバスの運行についても不安がたくさんあるように思う。

→ ①新しく通学路となることが見込まれる箇所については、小鮎中学校の通学路を踏まえつつ、中学生と小学生の判断力の違い等も加味しながら、安全点検をし、必要な対策を講じながら通学路として設定し、安全に十分留意するとともに、荷物の軽量化等によりできる限り児童の負担を軽減できるよう検討を進めてまいります。また、統合により、通学負担の増大が見込まれる児童については、方針で定めた基準を一つの目安にスクールバスの運行等の通学負担軽減策を実施します。

②スクールバスの安全管理については、児童が車内に取り残されることのないよう、安全装置の装備や乗降時の点呼等による乗降確認をすることに加え、マニュアル等を作成することで安全管理を徹底してまいります。

（その他）

△ 小中一貫教育を推進するのであれば、方策の実施後の小・中学校の給食は、小学校の給食室を活用した、自校給食を進めてほしい。

→ 現在、小鮎小の給食は自校での調理、小鮎中学校の給食は北部学校給食セン

ターで調理を行っています。今後、適正規模・適正配置の方策の方向性や、小中一貫教育の具体的な内容等を踏まえ、学校給食について検討していきます。

- △ ①行政は、学校長に教育というアイテムに対してどのように通達しているか。
②統合による子どもたちの心のケアをどのように対応するか。
③地域によっては子どもたちの通学距離や時間が長くなるエリアが発生する。その対応を考えていただきたい。
④市内に鍵っ子といわれる子ども達は何人いるか。
- ①国が定めている学習指導要領を大切に、基礎・基本の学力を身につけることを目標としています。その他、教育指導の重点に置いているのは、人権・インクルーシブといった共生社会に向けた多様性理解に関する教育です。また、厚木市内にも外国に繋がる子どもたちが増えていることもあり、英語力も含めたグローバルな資質・能力向上を重視しています。
- ②児童のストレスを軽減し、心身をケアする取組としては、計画決定から統合までの準備期間に統合校同士の児童の交流を行い、お互いに対する理解を深めることや、学校運営上のルール等を統合対象校同士であらかじめ調整しておくことなどで、児童にとって変化が急激なものとならないようにすることなどが考えられます。また、定期的なアンケート調査等の実施により、児童や保護者の皆様の不安や悩みの把握に努め、必要な対策を実施するよう検討していきたいと考えています。
- ③学校の統合による通学の長距離化・長時間化に伴う通学負担の増加は大きな課題であると考えています。児童・生徒の負担が大きくなるように必要な場合はスクールバスなどの通学負担軽減策を実施してまいります。
- ④鍵っ子については、家庭の事情で、学校からの帰宅時に他の家族が家におらず、自ら家の鍵を開けて帰宅している子どもを指しているとお見受けしますが、その数については、対象となる年齢や状況があいまいであるため、市内における具体的な人数については把握していません。